

会 議 録

会議の名称	潮来市男女共同参画審議会（第1回）
開催日	令和元年11月5日（火）
開催時間	午後1:00～午後2:35
開催場所	潮来市役所3F 議員控室

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付式 市長より委嘱状交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 潮来市男女共同参画審議会会長及び副会長の選任について</p>
A 審議委員 事務局	<p>はじめて委員になられる方も多いので、事務局案があったら、お願いしたい。 会長に佐藤委員、副会長に兼平委員を推薦させていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">—異議なしの声があり、承認された—</p>
(説明)	<p>6 議 事</p> <p>(1) 潮来市男女共同参画審議会規則について</p> <p>(2) 潮来市第2期男女共同参画基本計画策定のスケジュール（案）について 〈事務局より、資料1、資料2、参考資料1に基づき、議題1及び議題2について説明〉</p> <p>意見・感想・質問など</p>

B 審議委員	計画の名称について、「第2次」、「第2期」とありますが、「次」と「期」の使い方の違いはあるか。
事務局	新しい計画については「期」を使用している。
A 審議委員	策定体制についておうかがいしたい。審議会で議論した内容を策定委員会で検討することか。どのようにやりとりするのか。
事務局	審議会の意見を策定委員会にかけるため、場合によっては策定委員会の回数が増える可能性もあるが、策定委員会は部課長で構成されているため、委員会を開催せずに個別に調整することもある。
事務局(副市長)	策定委員会の委員長を務めていることから、審議会の御意見が策定委員会にフィードバックできるように、この会議に同席させていただいている。
C 審議委員	関係課、関係団体のヒアリングについてはどのあたりを想定しているのか。
事務局	第1期計画のことを踏まえて、現状把握を中心に実施する予定である。
D 審議委員	審議会だけの意見にならないように、議論の内容が市民に理解されるべきだと思う。パブリックコメントは予定しているのか。
事務局	まず、議事録を公表する予定であること、パブリックコメントは計画案が固まった段階で実施する予定である。
(説明)	<p>(3) 潮来市第2期男女共同参画基本計画策定に伴う市民意識調査アンケート(案)について</p> <p>潮来市男女共同参画アンケート調査内容の意見について (事務局より、資料3、4に基づき説明)</p> <p>意見・感想・質問など</p>
A 審議委員	資料4の6は、アンケートのどこの部分を指しているのか。
D 審議委員	男女共同参画は学校だけでなく、家庭での取り組みを重要なので、そのような選択肢を入れていただきたいと考えた。
C 審議委員	選択肢を増やして「家庭」での意識を入れるということ。
事務局	問25の選択肢3の下に、「家庭での男女平等教育」について追加する
A 審議委員	性的マイノリティについての説明については、「LGBTを含む」といった表現に変更すればよいのではないかと。
C 審議委員	性的マイノリティについては、包括的な表現にしてはどうか。
会長	包括的な表現がいいと思う。
事務局	性的マイノリティの表現については、さらに検討させていただく。
C 審議委員	問1の性別に、「その他」を入れるのか。性別を回答したくない場合は、回答しないということでもいいのではないかと。P1にそのような記載がある。
会長	ご意見がいろいろ出たところであるので、この部分は、事務局で検討することでご了

	承いただきたい。
A 審議委員	P3 の問 7 (キ)「男性以上に」という文言を追加したほうがわかりやすいのではない か。または、「女性は家事、育児もきちんと」としてはどうか。
事務局	この設問は県の調査と比較したいと考えているため、できれば同じ文言で調査させて いただきたい。
E 審議委員	問 10 の選択肢 9 の「結婚・出産退職」の内容が古臭いと感じる。また、男性の育児 休暇取得についての選択肢があってもいいのではないか。
C 審議委員	先日、大学生たちに「寿退社」という言葉について聞いたところ、みんな知っていた ので驚いた。意外とまだ存在しているのだと感じた。男性の育児休暇のことも聞いて みたい。
E 審議委員	女性目線だけでなく、男性目線も入れてほしい。
会長	教員の立場で、一生懸命学生を社会に送り出しているが、寿退社で職業を中断してし まう女子学生が多い現実がある。問 10 の選択肢は、比較に差し支えないような形で 選択肢の追加などを検討していただきたい。
C 審議委員	問 4 に「事実婚を含む」などに入れてもいいのではないか。
F 審議委員	選択肢に「その他」を入れるのはどうか。
C 審議委員	むしろ「事実婚を含む」という記載がよいと思う。
会長	問 12 の選択肢について。労働、社会環境、再チャレンジという 3 つの領域を網羅す る内容が良いと思う。
F 審議委員	男女雇用機会均等法と男女共同参画社会基本法の違いは。
会長	男女雇用機会均等法は雇用に関するもの、男女共同参画社会基本法は多様な領域で 共同参画を進めようというものである。
D 審議委員	職場にいる人、団体に入っている人は、いろいろな意見を持っている。しかし、家庭 にずっといる人はひっかかるものがない。家庭にいる人は現状に肯定的だが、家庭を 飛び出した時に初めて「おかしい」と感じるのだと思う。
会長	問 25 では、これからの世代にどういったものを用意するのか、そういった視点で考 えていくべきだと思う。
E 審議委員	問 6 については、女性も「1 同感する」と回答する人もいるのではないか。男性に養っ てもらおうという女性も多い。その他の欄があればいろいろな意見が出てくるのでは ないか。年収と高い男性と結婚するとか。
D 審議委員	今の生活に肯定的な人はいると思う。
会長	そういう意味では、アンケートに回答すること自体に「気づき」があるのではないか。
C 審議委員	大学生も、社会に出ていくか、専業主婦になるかで二極化している面がある。次世代 の視点は今後考えていくべきことだと思う。
	(4) その他

<p>(説明)</p> <p>事務局</p>	<p>〈事務局より説明〉 追加のご意見がある場合は、11月8日までに事務局まで連絡。</p> <p>7 閉会 ご意見を踏まえ、会長、事務局で検討の上、アンケート内容を決定させていただく。</p>
------------------------	--